

伊勢・志摩・伊賀の中世史

研究キーワード



- 日本中世史
平安時代後半から鎌倉・室町・戦国・安土桃山時代の歴史
- 地域史
伊勢神宮・伊勢国司北畠氏・伊勢平氏などに関する歴史
- 博物館学
文化財保護・古文書学・地域博物館の社会的役割など

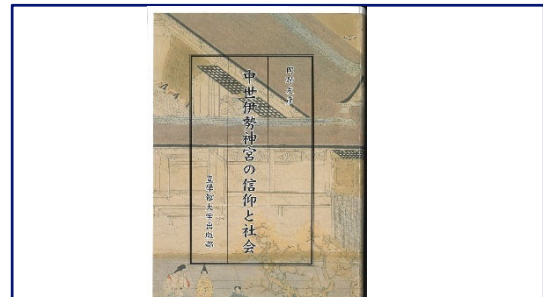
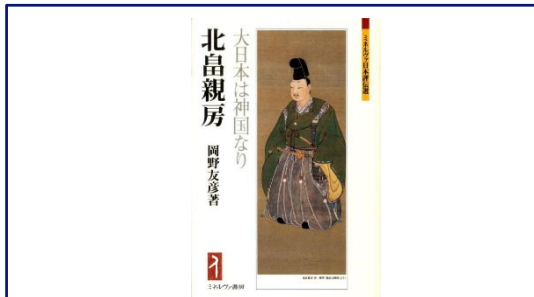
連携アピール



- 日本中世史を専攻し、三重県の中世史に興味を持っている関係から、中世の伊勢神宮や伊勢国司北畠氏、あるいは伊勢平氏について、地域からの講演依頼にお応えしてきた。また前職が博物館学芸員であった経験から地域の博物館や文化財保護に関係する仕事でも社会貢献している。

本研究の概要

- 本研究の概要は、平安時代の後半から鎌倉・室町・戦国・安土桃山時代にかけての伊勢・志摩・伊賀3か国の歴史について、地域の人々と連携しつつ解明していくとするものです。
- この研究テーマで、次のような講演実績があります。「熊野古道伊勢路の中世石造物」（尾鷲市立中央公民館、2023年10月）、「津市内の伊勢参宮街道」（津市新町会館、2023年8月）「かめやま中世文書のみどころ」（亀山市歴史博物館、2023年1月）、「天正伊賀の乱と伊賀惣国一揆」（名張市防災センター、2022年9月）、「伊勢国司北畠氏VS伊勢国人長野氏」（美里文化ホール、2022年6月）など。
- このテーマで、次のような著作があります。『北畠親房』（ミネルヴァ書房、2009年10月）、『中世伊勢神宮の信仰と社会』（皇學館大学出版部、2021年6月）。



研究者



岡野 友彦（おかの ともひこ）
文学部国史学科 教授

